

## 長期インターンは複数応募するべき（20名）

### ■ 理由 1：1社だけでは選考に通りにくいから（10名）

Aさん（19歳 男性）

最初に1社だけ応募しましたが普通に落ちました。複数受けてみて、選考は思っているよりシビアだと感じました。

Bさん（21歳 女性）

「1社受ければ受かるだろう」と思っていたのですが、現実には甘くなく、複数応募しておいて正解でした。

Cさん（20歳 男性）

書類や面談で落ちることも普通にあるので、1社だけだと何も始まらないと思いました。

Dさん（18歳 女性）

初めての選考で慣れていなかったのも、1社集中だとリスクが高いと感じました。

Eさん（22歳 男性）

インターンでも倍率が高く、複数出さないともっとも通過しない印象でした。

Fさん（20歳 女性）

友人も1社応募で落ちている人が多く、最初から複数出す前提で動くべきだと思いました。

Gさん（21歳 男性）

企業によって可否の基準が違うので、1社で判断されるのは怖かったです。

Hさん（19歳 女性）

選考は相性もあると思うので、数を出すのは大事だと思いました。

Iさん（22歳 男性）

実力というよりタイミングで落ちることもあり、複数応募は保険だと思います。

Jさん（20歳 女性）

1社しか受けていなかったら、落ちた時点でやる気が切れていたと思います。

### ■ 理由 2：企業を比較しないと良し悪しが分からないから（10名）

Kさん（21歳 男性）

複数社の話を聞いて初めて、業務内容や裁量の差が分かりました。

Lさん（19歳 女性）

1社だけだと「これが普通」だと思ってしまい、判断できなかったと思います。

Mさん（20歳 男性）

同じ職種でも、任せてもらえる仕事のレベルが全然違いました。

Nさん（22歳 女性）

比較することで「ここは成長できそう」「ここは違う」と整理できました。

Oさん（18歳 男性）

説明の丁寧さや雰囲気は、並べてみないと分からないと感じました。

Pさん（21歳 女性）

複数社を見ることで、自分に合う環境の条件が明確になりました。

Qさん（20歳 男性）

条件だけでなく、社員の接し方も企業ごとに全然違いました。

Rさん（22歳 女性）

比較して初めて、最初に良いと思っていた企業が微妙に見えました。

Sさん（19歳 男性）

視野を広げる意味でも、複数応募は必要だと思います。

Tさん（21歳 女性）

結果的に一番納得感のある企業を選べたので、比較は重要でした。

### 長期インターンは複数応募しなくてもよい（7名）

#### ■ 理由3：最初から志望が明確だったから（7名）

Uさん（22歳 男性）

やりたい業務と条件が完全に一致していたので、1社に絞りました。

Vさん（21歳 女性）

紹介で話を聞き、信頼できると感じたため他は受けませんでした。

Wさん（20歳 男性）

時間が限られていたので、準備を1社に集中させました。

Xさん（19歳 女性）

迷うよりも、決めた企業に全力を出した方が良いと思いました。

Yさん（22歳 男性）

複数受けると判断がブレそうで、あえて1社にしました。

Zさん（21歳 女性）

条件面で他を見る必要がなかったです。

AAさん（20 歳 男性）

選考準備が大変なので、数を絞る選択をしました。

#### ■ その他（3名）

ABさん（18 歳 女性）

学業との両立が難しく、そもそも複数応募する余裕がありませんでした。

ACさん（22 歳 男性）

体調面を考慮して、選考の数を最小限にしました。

ADさん（19 歳 男性）

募集時期が限られており、選択肢が少なかったです。